

# NISA news

NAGANO-PREF INFORMATION SERVICE ASSOCIATION

一般社団法人 長野県情報サービス振興協会

2026  
Vol.109

6

2026 総会特別号

## 生成AIと情報産業

生成AIは、今後も文章・画像・動画・プログラム制作を支援する“知的インフラ”として進化し、情報産業の構造を大きく変えていきます。単純作業は自動化され、人は企画力・創造力・課題解決力がより重要になります。

我々情報産業はAIを正しく使いこなしながら人・企業を育て、地域産業や教育、医療、製造業など幅広い分野で新たな価値創造をします。

NISA 一般社団法人長野県情報サービス振興協会はSDGsに取り組んでいます

## Contents

- 2026年度通常総会開催 p.2
- 2026年度委員会事業計画 p.4~6
- 2026年度委員会所属名簿 p.6
- 2026年度NISA総会記念講演 p.7
- NISA INFORMATION—VIEW p.8

NISA  
一般社団法人長野県情報サービス振興協会

## 新入会員募集



詳しくは、こちらから…  
[https://www.nisa.or.jp/outline\\_anai.html](https://www.nisa.or.jp/outline_anai.html)

発行所●一般社団法人長野県情報サービス振興協会総務委員会  
〒380-0936  
長野市岡田124-1 長水建設会館内  
Tel:026-225-1123 Fax:026-225-1500  
URL <https://www.nisa.or.jp/>

発行人●神澤 鋭二  
編集人●原 勝敏  
編集室●旬デザインルーム エム  
長野県上田市古里1487 Tel:0268-25-1172  
発行●令和8年6月26日



会長あいさつ

## AI技術の進化と情報サービス産業の 変革に向けて

一般社団法人長野県情報サービス振興協会 会長 神澤 鋭二

NISA会員の皆様、こんにちは。2026年度通常総会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本日は、ご多忙中にもかかわらず、本総会に多くの皆様にご出席頂き、誠に有難うございます。また、長野県産業労働部産業立地・IT振興課長 蔵之内様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席頂き重ねてお礼申し上げます。

本日の総会では、昨年度の事業報告／収支決算と今年度の事業計画／収支予算の議案のほか、第3号議案として「理事改選(案)」を上程しております。十分にご審議を頂いた後に、ご承認を賜りたく、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



さて、中東情勢の悪化など世界経済の不確実性が続く一方で、IT分野ではAI技術の急速な進化により、大きな変革期を迎えています。ChatGPTをはじめとする生成AIが社会に浸透してから約3年が経過し、AI技術は単なる支援ツールから、自律的に判断し行動するエージェントへと進化しつつあります。この変化は、情報サービス企業のビジネスモデルや提供価値そのものを根本から変える可能性を秘めており、我々に対する期待や求められる役割も大きく変化しています。

当協会(NISA)は、長野県内の情報サービス産業の健全な発展と産業の情報化を推進し、地域社会の活性化に貢献することを目的としています。このような場で繰り返しお話ししていますが、多くの企業がDXを推進する中、期待される役割を果たしていく

ためには、先進技術への対応力を高め、顧客企業の課題解決に伴走し、新たな価値創造に取り組むことが不可欠です。単なるシステム開発者ではなく、デジタル技術を活用した企業変革のパートナーとして、顧客や社会から信頼される存在へと進化していくこと。これが、我々情報サービス企業に求められています。

これまで、当協会では「DX実現に向けた他機関との連携事業」や「県内のデジタル人材育成に向けた取り組み」などを積極的に進め、DX認定事業者としての活動を展開してきました。今後も、「NISAビジョン」の実現に向けて、新しい時代に相応しい情報サービス産業の発展と地域社会の活性化を目指してまいります。本年度も様々な取り組みに積極的に挑戦していきたいと存じますので、引き続きご支援・ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

本日は、総会終了後の16:00から講演会、その後に懇親会を予定しております。講演会では、信州大学工学部教授 和崎様に、「生成AIからAIエージェントへ：自律型AIが変える企業システムの実装と戦略」というテーマでご講演頂きます。最新の技術動向と企業システムへの実装について、貴重なお話を伺えるのではないかと楽しみにしております。

最後になりますが、本日お集り頂いた皆様、並びにNISA会員の今後の益々のご発展とご健勝を心から祈念致しまして、私からの挨拶とさせていただきます。



ISO27001 認証取得  
ISO20000 認証取得  
ISO9001 認証取得  
ISO14001 認証取得

Equipment Sale&Rental  
Package Software  
System Integration  
System Resource  
Research&Development

### 豊富なノウハウでソフトウェアの新分野に挑む。

#### ■キッセイコムテックの事業内容

- システムインテグレーションサービス
- システムリソースサービス
- メディカルシステムサービス



#### キッセイコムテック株式会社

本社：〒390-1293 長野県松本市和田4010-10  
tel.0263-40-1122(代) fax.0263-40-1126  
東京事業所：〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-18-1 Hareza Tower  
tel.03-5979-6222(代) fax.03-3988-8088  
<https://www.kicnet.co.jp/>

来賓あいさつ

## NISA 2026年度 通常総会



長野県産業労働部 産業立地・IT振興課 課長 蔵之内 真紀氏

長野県産業労働部産業立地IT・振興課長の蔵之内 真紀でございます。

本日は、一般社団法人長野県情報サービス振興協会の総会が、関係の皆様のご出席のもと盛大に開催されますこと、心よりお祝い申し上げます。

NISA及び会員の皆様におかれましては、日頃より、県の産業労働行政に格別の御理解と御協力を賜りますとともに、「信州ITバレー構想」の推進に多大なる御支援・御尽力をいただいておりますことに、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年12月に県が公表いたしました、「県内IT市場と県内IT関連企業の実態把握等に関するアンケート調査結果」では、県内企業において、「ITやデジタル化に関わる人材がいない」との回答が30.7%と最も多く、企業のIT・デジタル人材の不足が明らかとなりました。一方、生成AIを始め、技術革新が急速に進展し、社会全体におけるIT活用の重要性は一層高まっております。



こうした状況を踏まえ、県内企業におけるIT活用に対するニーズは、今後さらに拡大していくものと認識しております。

そのような中、NISAの皆様におかれましては、情報サービス産業の発展と、県内産業におけるデジタル化やDXの推進に向け、会員対象のセミナー・講演会の開催による事業開発や、NISA学園による人材開発等の様々な取組により、大きく貢献いただいておりますことに、改めて心から感謝いたします。

県では、今年度の主な取組として、「デジタル化一貫支援サイト」の充実を図るとともに、専門人材による伴走支援を通じて、県内企業のデジタル化をより一層強力に支援してまいります。また、新たな取組として、DXハイスクール採択校における探究活動に対し、県内IT企業が伴走支援を行う事業を始めます。併せて、県内IT企業の皆様が当該支援に参画する際の補助などを行ってまいります。

皆様におかれましては、「デジタル化一貫支援サイト」のご活用をお願い申し上げますとともに、DXハイスクールへの伴走支援をご検討の際には、ぜひ県の事業をご利用いただければと思います。

「信州ITバレー構想」につきましては、昨年度、神澤会長にもご参画いただき、見直しの検討を進めて参りましたが、報道にもありましたとおり、改定を見送り、AIの利活用策など、改めて検討することとなりました。改めて皆様にお示しできるよう検討を進めて参りたいと考えておりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

デジタル技術を活用し、長野県産業の持続的な成長を実現していくため、今後とも、NISAの会員の皆様を始め、県内の事業者様の声をお聞きしながら、県といたしましても精一杯の努力をしていく所存です。

NISA及び会員の皆様におかれましては、ご支援・ご協力を賜りますよう、改めてお願い申し上げます。

結びに、長野県情報サービス振興協会の益々の御発展と、会員の皆様の御活躍、御多幸を心から御祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



 **NTT DATA**

株式会社NTTデータ信越

<https://www.nttdata-shinetsu.co.jp/>

本社 / 〒380-0904 長野県長野市七瀬中町161-1  
ハーモニー七瀬ビル本館2階  
支店 / 新潟支店・東京支店

## 1 事業開発委員会事業

事業開発委員会は、NISAのDX推進戦略に基づき、これまで会員企業の若手・中堅社員を対象に、DX事例の共有やグループワーク等の取り組みを進めてきました。

2026年度は、これらの活動を継続しつつ、学生との交流機会を新たに設け、AI活用を軸とした実践的な学びと相互理解を促進することを活動方針とします。

また、本取り組みは初めての試みであることから、成功・失敗の評価にとらわれず、まずは実施しながら内容を磨き上げていく姿勢で臨みます。

### 【2026年度の活動方針】

#### ■上期

- 企画立案・関係機関との調整

#### ■下期

- 交流イベント開催

#### 「産学AIイノベーション・Meet Up」(仮称)

〈イベント構成(予定)〉

- ・事例共有：AI活用現場の事例紹介
  - ・グループワーク・発表：生成AIの議事録要約機能等を用いた体験型討議
  - ・交流会：学生と企業若手の本音交流
- 〈行政・学校との連携〉
- ・県産業労働部のDX関連施策との連動
  - ・県立大学、清泉大学など、社会実装・イノベーション人材育成に積極的な学校との連携

#### ■通期

- 信州DX推進コンソーシアムとの連携

コンソーシアムの活動に適宜参加し、県内のDX動向や人材育成に関する最新情報を収集する。

得られた知見は、NISA会員企業への情報共有や委員会活動の検討に活用し、地域DXの動きを踏まえた事業展開に役立てる。

- 委員会(年/4回程度)

## 2 技術開発委員会事業

技術開発委員会では、新技術に関わるテーマを選定し会員企業や県内事業者の皆様セミナーや講習会等を通して周知を行い、新たな事業の創出や事業拡大の一助となるような事業を推進する。

また、各種補助金等の活用について関係機関と連携し会員企業に対して参画機会を促す情報発信等を行う。

### (1) 新技術活用研究事業

IT企業のトレンドとなる新技術等を習得理解するための講演会またはセミナーを開催

- 講演内容については、6月を目途に選定し年度内に2回開催する。

テーマ案としては、以下のとおり。

- ・「IOWN」(アイオン)構想について
- 次世代情報通信基盤構想の概要、もたらされる未来について
- ・スリープテック×健康経営の最新トレンドについて
- 睡眠の観点から企業の健康経営を支える最新技術等について

### (2) DXソリューション提案事業との連携

- 長野県工業技術総合センターの「DXソリューション提案事業」と連携し、県内企業とNISA会員とのマッチングを図る。

## 3 人材開発事業

NISA学園事業 (IT企業向け研修)

2026年度は、「プロジェクト・マネジャー養成研修」として基礎から中級までの総合コースである「PM養成基本コース」(3日間コース×3講座および1日コース×1講座)とDXを推進する「デジタル人材養成研修」(1日・2日間×3講座)を開講します。

「PM養成基本コース」は研修会場での集合研修に加えてオンラインでの参加も可能とするハイブリッド形式で、「デジタル人材養成研修」(基礎編)はオンライン形式で、(事例編)・(実践編)は集合研修で実施します。

※全コースPMBOK®第7版に対応しています。

### 【コース概要】

#### ① PM養成基本コース (4講座)

中堅SEから初級プロマネを対象とし、QCD実現のためのマネジメントスキルを広く習得します。

- 基礎編
- 計画編
- コントロール編

- リスク・マネジメント編&対人関係スキル編

#### ② (生成AI時代の)デジタル人材養成研修 (3講座)

DX人材の必要性が言われる中、「顧客に寄り添うビジネス価値」の側面からデジタルの本質理解やDXの取り組み事例等について学習します。

また、昨今様々な業界・分野で進んでいる生成AIの開発や活用について、活用事例や最新の動向についても学習します。

- 「今さら聞けないデジタル人材」～[基礎編]

- 「顧客目線を見据えたユーザエクスペリエンスと価値提案」～[事例編]

- 「要件定義のデジタルシフト」～[実践編]

## 4 対外交渉委員会

長野県の情報産業の集まりであるNISAですが、他業種の生成AI、IoT、DXなどの活用状況の現状について私たちは把握できているのでしょうか？他業種との情報交流を積極的に行い、我々情報産業が現在から未来へにどのように役立っていけるのかを探りつつ「情報のNISA」の知名度を向上させブランディングに努める。

### (1) 「異業種の協働によるイノベーション創出」セミナー

生成AIの普及が社会に急速な変化をもたらしつつある昨今、IT業界でも中小零細企業が生き残るためのイノベーションを起こさなければ長期の展望が望めなくなっている。全くの異業種が互いの強味を活かし新機軸の創出のきっかけとなる事業を探る

### (2) AI、DX(デジタルトランスフォーメーション)セミナー

デジタルトランスフォーメーションの推進状況がどの様に推移し何が課題となっているのか、本来の目的である事業の効率化の手法を学ぶ。またAIがもたらす急激な社会の変化や活用方法を探る。(上田商工会議所・NISA東信支部共催)

### (3) サイバーセキュリティ最前線セミナー

アサヒHDやアスクールへのサイバー攻撃は記憶に新しいところです。世界情勢の不安定化により企業や個人に対するサイバー攻撃が増加し、かつ巧妙な手口となっている。実際に甚大な被害を出し社会にも大きな影響が出ている。最新のサイバー攻撃の事例を知りその脅威から企業をどう守り、攻撃を受けたときはどうしたら良いのかを具体的に知る。(長野県警サイバー犯罪対策課・長野県インターネットプロバイダ防犯連絡協議会共催)

## 5 総務委員会事業

### (1) 総会、理事会の開催と運営

総会および理事会(年間合計6回)を開催する。(日程変更有り)

4月15日(水) 第1回理事会(事務局)

5月20日(水) 第2回理事会及び総会(ホテル信濃路)(事務局)

7月16日(木) 第3回理事会(Online開催)

RF インベントリオ - RFID在庫管理システム -

iPhoneとRFIDリーダーを連携させ  
物品に貼ってあるRFタグを読み取り  
確認できたものをPC上で管理

作業時間の記録から進捗の可視化  
コスト管理までワンストップで対応

EffiTrack 一工数管理システム

詳細情報、  
お問い合わせは  
こちらから⇒





MIMAKI GROUP  
株式会社マイクロテック

<https://www.microtech.co.jp/>

- 9月15日(火) 第4回理事会(南信支部担当)
- 12月 4日(金) 第5回理事会(東信支部担当)
- 2027年 2月 5日(金) 第6回理事会(事務局)
- (2027年)
- 4月16日(金) 2026年度第1回理事会(事務局)
- 5月21日(金) 2026年度第2回理事会及び総会(ホテル信濃路)

## (2) 対外交流活動

県内外のあらゆる産業との連携強化、情報サービス産業の団体である ANIA、JISA との連携強化を図り、NISA 会員に新しい情報の提供を行い、情報サービス産業の基盤を確立する。  
又、県内企業の情報化を推進する為、他団体との交流を図る。

## (3) 各種共催事業

他産業、大学、県等との交流および連携を図ることにより、県内の一層の情報化を推進するため、県内外の情報関連団体、県内業界団体、県等で本会の趣旨に合致する諸事業に対し、共催および後援等を行なう。

- 全国地域情報産業団体連合会(ANIA)
- 長野県工科短期大学学校教育研究振興会
- 長野県中小企業団体中央会
- 長野県将来世代応援県民会議

## (4) NISA-NETの運営

現在利用のNISA会員ネットワークの管理運営を図り、会員間の情報伝達の手段としての利用促進と、会員外への本会の情報発信手段として活用する。また、随時会員の関連記事やトピックスがあればHP上にアップし広報していく。

## (5) 機関誌「NISA NEWS」の発行

本会の活動報告、事業に係わる募集、情報サービス産業に関する施策、最新技術情報、会員情報、情報化に係わる地域の要望等について記載した機関誌を年2回発行する。

年2回は、総会特集号(6月)、新年号(1月)とする。

配布先▶会員企業、国、地方公共団体、商工団体、情報関連団体、教育機関、企業等

また、会員企業の社員等のためにHPに掲載する。

## (6) SDGs・DX認定対応作業

- 情報セキュリティの強化  
セキュリティ規定整備とSECURITY ACTION制度支援団体として取り組み強化
- SDGs申請の更新と目標達成に向けた重点的取り組み及び具体的な取り組みを着実に実行する。
- DX目標実現に向けた取り組みの実施とAI活用の具体化

## (7) その他

- 行政の窓口
- 各委員会の所管対応調整

## 6 支部長会事業

支部会活動と本会との意見交換・情報交換を活発に計り、NISA会員としての意識と認識を高め、会員の参加を促す。

各支部活動の状況を把握し、支部単位での独自活動を支援し会員一人一人の声を本会まで反映させる開かれた活力のある会の運営をサポートして行く。

### (1) 正副支部長会の開催

- 各事業ごとにオンライン・オフライン交え随時開催する(随時)

### (2) 会員交流事業

- ボウリング大会(10月～11月)  
全支部のスポーツ交流として実施。  
東信・北信・中信・南信で、それぞれ1会場の計4会場に別れて実施。

※各支部での実施支援と、優勝者表彰実施

## (3) 若手社員交流事業

- 年1回開催(2月)  
40歳までの若手社員を対象としたプチセミナーと企業間交流を行い、同業種同世代の仲間がいることの意識を強化させ、自社でのモチベーションアップを図るとともに、若年世代からの人脈を築きます。

## (4) 各分科会事業の支援

- 事業開発委員会事業(信州ITバレー推進協議会や産学官連携等でのセミナーや研究会への動員支援)
- 技術開発委員会事業(AI・IoT利活用推進プラットフォーム等でのセミナーや研究会への動員支援)
- 人材開発委員会事業(NISA学園、システム開発管理研修への受講促進)
- 対外交流委員会事業(各種イベントへの動員支援)
- スマートシティ・インスティテュート(SCI-Japan)情報共有

## (5) 支部分科会事業の推進

- 信州ITバレー推進の為、県内試験場と各支部間連携を推進する為に、各支部施策を本会に伝達

## 北信支部会事業

### ○支部会

- 夏季研修会(懇親会含め開催)\* 時期: 8月 会場: 長野市内
- 正副支部長会(懇親会含め開催) 時期: 10月 会場: 長野市内
- 支部理事会(懇親会含め開催) 時期: 12月 会場: 長野市内

- 新春講演会(懇親会含め開催)\* 時期: 1月 会場: 長野市内
- 支部総会(懇親会含め開催) 時期: 3月 会場: 長野市内

### ○会員交流事業

- 親睦ゴルフコンペ\* 時期: 10月 場所: 未定
- スポーツ交流(ボウリング大会) 時期: 11月 場所: 長野市内

### ○長野市ICT産業協議会との共催事業

内容: 研修会・講演会・会員交流事業等を3回程度開催(上記※の事業を想定)

テーマ、時期、会場等は、長野市ICT産業協議会と協議して決定

## 東信支部会事業

### (1) 事業開発および対外交流事業

- 上田市または上田商工会議所と地域活性化活動  
上田城下町映画祭への協賛活動
- 産業ミライフェスin UEDA 2026参加  
(上田商工会議所情報教育文化部会と共同)  
時期: 11月  
場所: サントミュージゼ(上田市交流文化芸術センター)

### (2) 技術開発・人材開発分科会

- 事業課題・情報化社会の理解(上田商工会議所情報教育文化部会と共同)  
セミナー開催 テーマ: AI研究・活用セミナー  
時期: 2月 場所: 上田市内

### (3) 支部会事業

- 支部拡大理事会 時期: 5月 場所: 上田市内
- 支部会 時期: 6月 場所: 上田市
- 視察研修会(上田商工会議所情報教育文化部会合同開催)  
時期: 7月 場所: 未定
- 支部会・会員情報交換会親睦事業(支部長会連携ボウリング大会)  
時期: 11月 場所: プラチナレーンズ上田店

ホームページ・WEBアプリケーション制作



有限会社ハルタ

- ・PHP、JavaScriptによるWebアプリケーション開発
- ・自治体、公共団体などの3,000ページを越すエンタープライズCMS実装、保守管理
- ・文化資産のデジタルアーカイブ構築
- ・IIIF対応アーカイブ開発
- ・フォトグラメトリーVR、3DGS撮影制作



## 中信支部会事業

### 1. 支部事業

- (1) 支部総会の開催 時期：2026年6月3日開催予定 場所：松本市内  
① 支部理事会・支部総会・懇親会
- (2) 支部会員交流事業  
① グリーンミーティングの開催  
時期：2026年6月3日開催予定 場所：中信地区内  
② ポウリング大会の開催  
時期：2026年11月開催予定 場所：松本市内  
③ 支部会・懇親会の開催  
時期：2027年3月開催予定 場所：松本市内
- (3) 支部理事会の開催 時期：2026年12月開催予定 場所：松本市内
- (4) 魅力ある支部を創るための活動  
NISA会員としての意識と認識を高め、魅力的な活動により会員企業の増加促進に繋げる(共同研究実施、仕事の連携及び紹介、雇用・採用・労務情報共有など)

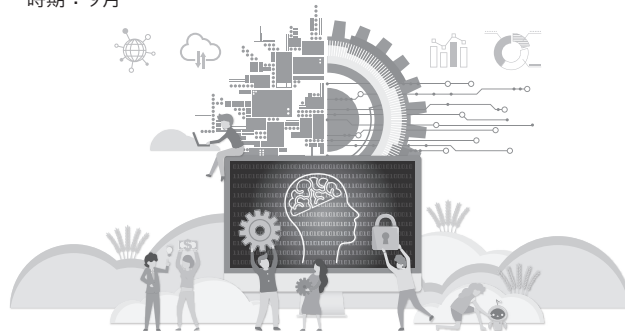
### 2. 分科会事業 ※NISA本会の各委員会活動に積極参加する

- (1) 事業開発分科会：産学官連携推進事業、信州ITバレー構想連携事業、その他
- (2) 技術開発分科会：新技術活用実証実験事業、その他
- (3) 人材開発分科会：NISA学園事業、雇用採用事業

(4) 対外交流分科会：NISA主催セミナー等の開催、及び各種団体との共催事業

## 南信支部会事業

- 1. 支部会 時期：6月、2月  
場所：諏訪市周辺
- 2. 会員交流事業  
会員間の人材交流と活性化の為、大勢の会員が参加できる事業を開催する。  
時期：11月  
場所：岡谷市
- 3. 研修会の開催  
支部会にて検討し、地域企業及び自治体向けDXセミナーを開催する。  
時期：9月



## 2026年度 一般社団法人長野県情報サービス振興協会 委員会所属名簿

①委員長 ②担当理事 ③副委員長 ④所属会員 の順 【北】=北信 【東】=東信 【中】=中信 【南】=南信

### 1 事業開発委員会

- ① 村田 忠秋【南】
- ② 青柳 和男【北】 若林 順平【東】  
平沢 誠二【中】
- ④ 【北】 ㈱ケイケンシステム  
㈱アブリック  
㈱日本オープンシステムズ  
㈱八十二長野銀行  
㈱ロゴス  
使えるねっと㈱
- 【東】 ㈱ANX  
㈱上田エレクトロニクス  
㈱イージーコンプ  
㈱みすず総合コンサルタント  
㈱三越総研
- 【中】 TIS長野㈱
- 【南】 アルティメイトプロジェクト㈱  
エルシーヴイ㈱  
㈱サンセイコンピュータシス

### 2 技術開発委員会

- ① 宮下 千里【中】
- ② 棚橋 裕弥【北】 神津富治男【北】  
佐藤 寛之【東】 林 隆嗣【中】  
吉村 圭司【南】

- ④ 【北】 NTT東日本㈱長野支店  
㈱TOSYS  
㈱いとう  
㈱シー・エス・イー  
信越オフィス  
㈱長野県協同電算  
㈱ビー・クス
- 【東】 マリモ電子工業㈱  
㈱ズー  
長野大学企画情報学部
- 【中】 ㈱マイクロテック  
㈱アドヴァンスト・  
インフォメーションデザイン  
アルゴジャパン・イーエス㈱  
㈱マイネットシステム
- 【南】 ㈱アイテック  
丸登電業㈱

### 3 人材開発委員会

- ① 小林 宏之【北】
- ② 倉島 裕二【北】 田中 友人【北】  
山口 恵一【東】 丸茂 覚【中】  
折井 康浩【南】 柴田 直文【南】
- ④ 【北】 ㈱NTTデータ信越  
オリオンシステム㈱  
㈱システックス

- 富士フィルムビジネス  
イノベーションジャパン㈱  
㈱ライフシード
- 【東】 ㈱パスカル  
ダイイチ㈱  
コードアカデミー高等学校
- 【中】 カタバミ・マネジメント・  
サービス㈱  
ヒューマンエンジニアリング㈱
- 【南】 ㈱ビットコネクト  
長野日本ソフトウェア㈱

### 4 対外交流委員会

- ① 母袋 卓郎【東】
- ② 吉江 安史【北】 金子 昌行【北】  
中島 洋一【東】 北村 俊之【中】
- ④ 【北】 ㈱インターテクノスフィア  
長野事業所  
炭平コンピューターシステム㈱  
石田通信機㈱  
リコージャパン㈱長野支社
- 【東】 ㈱上田ケーブルビジョン  
エプソンアヴァシス㈱  
㈱テクニカルイン長野
- 【中】 ネクストリンクス㈱  
富士コムテック㈱

- 【南】 長野システム開発㈱  
日本ナレッジ㈱

### 5 総務委員会

- ① 原 勝敏【東】
- ② 渡辺 周二【北】 水野 泰雄【東】  
会長 神澤 鋭二【中】
- ③ 水野 泰雄【東】
- ④ 【北】 ㈱システムプラン  
㈱テクネット
- 【東】 ㈱デザインルームエム
- 【中】 キッセイコムテック㈱

### 6 支部長会

- ① 渡辺 正志【東】
- ② 吉川 満則【北】 森尻修一郎【中】  
藤森 宏紀【南】
- ④ 【北】 ㈱電算  
【東】 ㈱ハルタ  
【中】 SCSK  
Minoriソリューションズ㈱
- 【南】 ㈱ジェーシーエム

わたしたちは、地域や業界に根ざし  
「小さな日本一」のシステムを創り出す  
会社であり続けることを目指しています

お客様のビジネスの成長をITでサポートする



上田・長野・箕輪・東京・石川

# 生成AIからAIエージェントへ 自律型AIが変える企業システムの実装と戦略

講師 信州大学 工学部 教授 和崎 克己氏



講師紹介  
信州大学 工学部 教授 和崎 克己氏

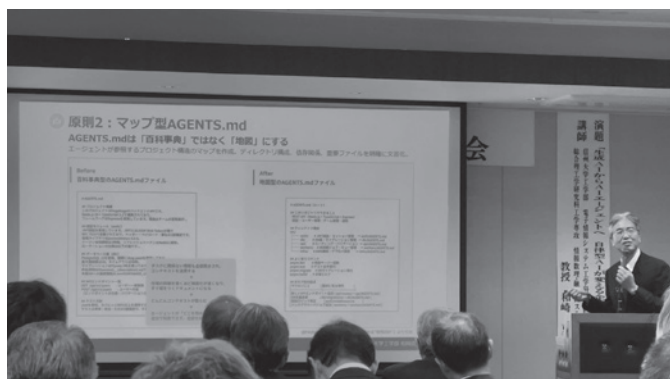
博士(工学)。信州大学工学部助手、助教授を経て2009年より教授、2024年より評議員。カナダ・アルバータ大学客員研究員、NEDO技術評価委員等を歴任。並列分散システムのモデル化、非同期システムの形式検証、モデル検査、ソフトウェア上流工程などの研究に従事。IEEE、電子情報通信学会等会員。



今回の講演は「生成AIからAIエージェントへ」と題して、急速に進化するAI技術が企業システムやソフトウェア開発をどのように変えていくのかをテーマにご講演いただきました。講師は、信州大学工学部教授の和崎克己氏で、並列分散システムやソフトウェア工学の研究者としての視点から、AIエージェント時代の技術と組織の在り方をご講演していただきました。

現在、生成AIは単なる「対話型AI」の段階を超え、与えられた目的に対して自律的に計画・実行・改善を繰り返す「AIエージェント」へ進化しています。国内企業でも認知が急速に高まり、AI導入は「情報収集」や「文章生成」だけでなく、社内ヘルプデスク、顧客サポート、業務フロー自動化など、実際の業務実行へと広がりがつつあります。AIは単なる補助ツールではなく、人間の指示を理解し、自ら判断しながら動く存在へ変化してきています。

講演では、その実装を支える新しい考え方として「ハーネスエンジニアリング」と「コンテキストエンジニアリング」が紹介されました。ハーネスエンジニアリングとは、AIに対して細かなプロンプト修正を



繰り返すのではなく、AIが正しく判断できる環境やルール、テスト、ガードレールを整備する考え方です。つまり、人間はAIへ直接命令するだけでなく、「AIが迷わず安全に動ける環境」を設計する役割を担うようになります。一方のコンテキストエンジニアリングは、AIへ与える情報の量や構造を最適化し、必要な情報を適切なタイミングで渡すことで精度を高める技術であり、AI活用の質を大きく左右する重要要素とされています。

さらに講演では、AI導入が進む一方で、多くの企業が直面する「生産性パラドックス」にも触れていただきました。個人レベルでは開発速度や業務効率率が大幅に向上しても、組織全体としてはコード品質のばらつきや技術的負債が増え、成果につながらない問題が起きているという指摘でした。

AIによって誰でも簡単に開発できる時代だからこそ、全体設計や品質管理、長期的視点が重要になります。エンジニアには単なる「コーダー」ではなく、AIを統括する「指揮者」や「監査者」としての役割が求められるようになります。

また、ソフトウェア開発の概念そのものも「Software 3.0」という新しい段階へ移行しつつあると説明されました。従来のように人間が行わずコードを書く時代から、AIがコード生成を担い、人間は設計思想・品質・全体最適を管理する時代へ変わっていく。これに伴い、企業に必要な人材像も変化し、技術力だけでなく、AIを活用した業務設計力、運用力、判断力が重視されるようになっていきます。

まさに、「AIを使う時代」から「AIと共に組織を動かす時代」への転換を意味する方向です。単なるツール導入ではなく、企業文化や組織設計、人材育成まで含めて変革する必要があることを示してください、AI時代における情報産業の経営・開発・教育の方向性を考える重要な示唆をいただきました。

# AVASYS

エプソンアヴァシス株式会社

人びとを幸せに、  
発想と技術で未来をクリエイトする

先進のIT技術と発想で、人とモノと情報がつながる  
新しい時代を創造します

長野県上田市下之郷乙1077-5

avasys.jp

## 移管、名称・担当者・代表者・住所変更

### ●担当者役職変更

#### ■北信支部(2025年6月付)

(株)TOSYS

旧 常務取締役電設・ITビジネス事業部長 神津 富治男 様

新 取締役常務執行役員 神津 富治男 様

#### ■北信支部(2025年6月付)

炭平コンピューターシステム(株)

旧 取締役システム部長 金子 昌行 様

新 上席理事 金子 昌行 様

### ●担当者変更

#### ■賛助会員(4月1日付)

学校法人ISI学園 専門学校長野ビジネス外語カレッジ

旧 キャリアセンターキャリアコンサルタント 岩岡 夏子 様

新 副校長/専門学科教務部長 堀内 美穂 様

#### ■東信支部(4月1日付)

公立大学法人長野大学

旧 地域づくり総合センター 庄村 栄治 様

新 地域づくり総合センター  
地域協働推進コーディネータ 竹内 永 様

### ●住所変更

#### ■東信支部(4月1日付)

(株)システムプラン

旧 上田市問屋町510-2 〒386-0041

新 上田市秋和522-13 〒386-0041

※電話番号は変更なし

### ●代表者変更・担当者変更

#### ■中信支部(5月29日付)

アルゴジャパン・イーエス(株)

代表者変更

旧 代表取締役 進士 晃三 様

新 代表取締役 飯田 芳久 様

担当者変更

旧 代表取締役 進士 晃三 様

新 営業技術本部長 福澤 勇輝 様

### 渡辺周二専務理事、本当にご苦労様でした

長年NISA専務理事としてご活躍いただいた渡辺専務理事が本総会を持って退任されました。

NISA会員全員から感謝状と記念品を、神澤会長より授与いたしました。



## DX認定 NISAビジョン並びにDX戦略

当協会は、先進技術の調査研究、情報サービス産業と他産業との連携強化、人材育成等を通じ、県内情報サービス産業の健全な発展を図るとともに、産業の情報化と共創・伴走支援を推進することで、長野県産業のDX化に貢献します。

DX推進戦略	2026年に向けた指標
1. 県内企業・NISA会員のDX実現に向けた共創・伴走支援を他機関との連携により推進する。 (1)DX活用による事業開発の推進並びに各企業の詩行開発支援 (事業開発) (2)新たな事業の創出や事業拡大へ貢献する新技術の周知活動の展開 (技術開発) (3)NISA会員及び県内企業のデジタル人材、プロジェクトマネジメント人材の育成 (人材開発) (4)DX推進・共創に寄与する情報発信・セミナー企画の推進 (対外交流)	DX戦略の推進に当たっては、以下を目標として設定し、定期的に開催される正副会長会議で、進捗状況を把握し、評価することで、DX推進に向けた取り組みを効果的に進めていきます。 2025年度実績 ●各委員会の事業計画に対する取り組みの進捗度 74% ●セミナー・研修会、イベントの開催数(年間12件以上) 14件 ●当協会のDX認定企業数(2026年度末6社以上) 5/6社※ ●事務局、総務委員会の事業計画及びITシステム・デジタル技術活用環境の整備に対する進捗度 15%
2. デジタル化とデータ活用により協会業務の効率化を推進する。(総務・事務局) (1)デジタル技術の活用によるNISA会員及び県内企業への提供サービスの向上 (2)NISA会員情報・データの充実・利活用を通じた協会業務の効率化と各種施した支援の強化	ITシステム・デジタル技術活用環境の整備に向けた方策について ●情報発信、情報共有のための環境整備 進捗 無 ●コミュニケーションツールの整備 進捗 無 ●業務効率化の推進 AI活用の試行実施

※DX認定企業数には本社が取得済みの JHOP様・FFBIJ様・富士通様を除く

現場の  
AI画像認識  
×  
事務の  
AI-OCR

深刻な人手不足  
技能の属人化に、  
即効性のある  
答えを。

過去30年の現場知を体系化した共通基盤  
「U-Mate®」により、AI画像認識による検品や  
生産プロセスの自動化を即座に実現。  
単なる効率化にとどまらない、  
経営に直結する「現場技能の  
デジタル化」を伴走支援します。



AIで現場を動かす共創パートナー

アルティメイトプロジェクト株式会社  
Ulti-mate Project Company

<https://www.upc.co.jp/>

